

[施策名 技術基準等の見直し]

小規模処理場の標準化

○施策の概要、進捗状況、継続性

小規模な下水処理場における、水処理施設、汚泥処理施設、建築施設等の標準化、及び処理場全体の設計のパッケージ化(個々の標準化施設の集合体としての処理場全体の設計の標準化)を行い、コスト縮減を図ることができる。

現在、下水処理施設のうち水処理施設の標準化と処理場のパッケージ化を進めている。

○施策の効果

日本下水道事業団では、水処理方式として縦軸オキシデーションディッチ法、汚泥処理施設にベストパッケージおよびコンテナ形式貯留設備、電気設備として自立型監視盤等によるパッケージ化を導入し、平成11年度に約40億円のコスト縮減効果があった。

○イメージ図

【現計画】

